

## 御意見等の公表

期間

令和4年5月～令和5年6月 受付

保護者等より寄せられた御意見の中で、園として改善に取り組む事項を公表するものです。  
また、この御意見の内容については、苦情解決第三者委員との協議を行いました。  
今後とも、保護者の皆様と意見交換しながら、日々の教育・保育に取り組んでまいります。

まなびこども園

園長 山下 裕康

第三者委員 酒井徳人氏（社会保険労務士）・重信実男氏（元 テレビ宮崎）

時 期	内 容	対応・改善
令和4年 8月	お迎え時に、「朝、預ける時に、子どもを荷物のよう に抱っこする先生がいます。」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主幹から、全職員に子どもの抱き方の注 意をしました。</li> <li>・園長から担当職員に注意しました。</li> </ul>
令和4年 11月	給食で「食べたコンニャクが、便でそのまま出てき てビックリしました。よく喉に詰まらせなかったな あと少し、ヒヤヒヤしました。噛まず飲み込むクセ が心配です」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当は、メニューの中の里芋は少し大き く感じたので、スプーンで小さくしたが、 コンニャクは気にならなかった。</li> <li>・1週間後の同じメニューでコンニャクの 大きさを確認し、写真で保護者に確認を行 いました。</li> </ul> <p>主幹より、御心配をかけたことを謝罪しま した。</p> <p>園の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小さく切る事は簡単ですが「噛む」とい う事を考えると、ある程度の大きさは必要 である事。また、本用がつめ込んで食べる 様子が見られるため、食べる様子を保育者 が見て、しっかり噛むという指導を行って いく事を伝えました。</li> </ul>

時 期	内 容	対応・改善
<p>令和5年 3月</p>	<p>箸で豆をつかむ遊びをしている時に、大豆等の豆を鼻に入れてしまった。担任、看護師で取り除こうとしましたができなかった。本児が痛がらないこと、息苦しさを感じない様子だったので、その後の活動に参加させて様子を見た。散歩から帰園後鼻をかませたが出てこなかった。昼食後、父親に連絡し病院受診を依頼した。</p>	<p>保護者から「連絡が遅れたことを説明してほしい」との連絡がありました。</p> <p>園長から担任から様子等の報告があり、看護師に対処を指示したがうまく取れなかったため、しばらく様子を見ることとし、予定していた散歩に参加することを許可し、昼食後に保護者に連絡を入れるようにしました。</p> <p>園長は、過去の経緯から時間が経過すると取れることが普通であったため時間をおいたところがありました。</p> <p>病院での受診の結果、鼻に詰めた豆が腫脹しており取れにくくなったとのことを保護者からの連絡で知りました。</p> <p>すべて、園長の判断ミスであり保護者に担任と共に謝罪し、その経過と園長が判断ミスした理由を説明しました。</p> <p>今後の改善事項として、園で対処できなかった場合には、早めに保護者に医療機関の受診を依頼することになりました。</p> <p>また、職員と今後の対応方法を共有しました。</p>